



INAX MUSEUMS

INAXライブミュージアム

NEWS LETTER

特集 めでたい、愛でたい、
タイルたち

vol. **38** | 季刊 **冬**
2016



01 [特集] めでたい、愛でたい、タイルたち

しあわせの神様／長寿を願う／いよっ、日本一／鳳凰は、はばたく
風雅を愛でる／宴は楽し／心はずんで 今年はどこへ

LIVE REPORT

06 開催報告

DOCOMOMO Japan「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」選定記念
フォーラム『堀口捨己と常滑市立陶芸研究所』

第6回 陶と灯の日

フィンランドからサンタクロースがやってくる!

07

シルバーウィークイベント
タイルでつくろう! 庭のあるおうち

フォトコンテスト2015「私の好きなライブミュージアム」
入賞・入選作品の発表

光るどろだんご全国大会2015

LIVE SCHEDULE

08 好評開催中

素掘りのトンネル マブ・^にニ^ご五^あ穴—人間サイズの土の空間

09

I LOVE タイル—タイルがつなぐ街かど

CONTENTS

INAXライブミュージアム
NEWS
LETTER

vol. 38 | 季刊 冬
2016

表紙写真

企画展会場に再現された、
ほぼ実物大の素掘りのトン
ネル。背をかかめて、壁をつ
たって、不思議そうに歩く男
の子たち。人間サイズのその
空間を感じていただけただ
しょうか。(2015.11.29)

撮影:加藤弘一



2



3



1

1.梅文六角数瓦 (日本 18~19世紀 江戸時代末期 一辺12×1.8cm) 縁起の良い亀甲の形と梅の花。^{こもり}2.編蝠文数瓦 (日本 19世紀 明治時代後期 15×15×1cm) 図案化されたこもり。蝙蝠の「蝠」の字が「福」と同音であることから中国では福を呼ぶ動物とされている。3.ザクロ・パイナップル図 和製ヴィクトリアンタイル (日本 15×15×0.8cm) 子宝や金運など、中国では縁起の良い植物。4.イギリス単彩レリーフタイル (19世紀末 15×15×1cm) 日本の影響を受けた図柄。鶴や鯉が描かれている。



4

めでたい、愛でたい、 タイルたち

[特集]

日本人は古来、さまざまな縁起物や吉祥文で新春を祝ってきました。
松竹梅に鶴と亀。霊峰富士や七福神。
新しい年は、希望に満ちて、明るい気分で幕を開けたいもの。
そこで、世界のタイル博物館のコレクションから、
選りすぐりの“めでたい”タイルをご紹介します。
おめでたい図柄のタイルを愛でながら、その意味を読み解いていきます。

常滑から※

37

大物をつくる人



旅をするこの土地の景色がまず目に入る。風光明媚な観光地も良いが、常滑はやきもの産業の街、良品として使用できない土管や焼酎瓶の不良品で景色ができている。来客と常滑を歩く機会がよくある。名鉄常滑駅までお迎えに行き、歩き出す。ただ歩くだけではなく、つくり手の工房にもお邪魔してお話を聞く、運が良ければ土を自由に扱う職人の技を見せていただけることもある。常滑焼は、茶器、花器、酒器、便器、建築陶器、彫刻、鉢…繊細な急須からダイナミックな大甕まで、ありとあらゆるやきものがある。平安、鎌倉時代の大甕をつくる技術を今に伝える人がいる。前川製陶賢山 三代目の前川賢吉さんだ。
前川さんは、常滑市指定無形文化財常滑焼工法「大物ヨリコ造り」※の保持者だ。また、あいち技能マイスターにも認定されている。20代の頃は、青年海外協力隊員としてフィリピンで窯業技術の指導をされ、現在は「ここなめ焼協同組合」の副理事長をされている。能舞台の床下に埋める甕をつくり、中部国際空港へは大型フランターを納め、水琴簫、傘立て、睡蓮鉢、風呂等、大きなやきものをひねり出し焼き上げる。つくる物も大きい、人のため地域のために行動ができるスケールの大きな人だ。
※ヨリコ造り:腕の太さほどの粘土を積み上げて成形する技法

磯村司 (フワシヨップ担当)

※ INAXが生まれ育った常滑のやきものや土に関わる人、風景、できごとなどを、INAXライブミュージアムのスタッフが伝えます。

現在では、建築仕上げ材として、建物の外壁や室内の壁に張られているタイルですが、かつては、とても貴重なものでした。やきものなので色あせることもなく、耐久性もあることから、油彩画、あるいは掛け軸の代わりに、室内を飾る目的で、何らかの図柄が描かれました。

また、タイルは古来特別な権力者のためや、豊かさの象徴として使われる贅沢なものでした。その豊かさを、より多くの人が享受できるように、人が大勢集まるところに張られました。その結果、タイルに描かれた当時の新しい情報が共有され、広がっていったのです。

描かれたのは、物語や説明的な情報のほかに、内容が一目でわかるアイコンとして定着した図柄もありました。1枚の陶板の中に、おめでたい物語のシーンを描いたもの、あるいは数枚のタイルを並べて大きな絵として鑑賞できるようにしたもの、大きなものは壁の中にはめ込まれて鑑賞されていました。人の集まるところにタイルあり。それを見て、楽しんで、話に花が咲く。タイルはこうした役割を担っていたのです。



染付陶板「三清園基図」
中国 明・成化年間 15世紀 19×22.6cm

それぞれ持ち物が決まっている八仙。笛を吹く韓湘子、蓮の花を持つ女神・何仙姑など。



しあわせの神様

「三清」とも呼ばれる道教の最高神、元始天尊、太上道君、太上老君(老子)の三神が、碁盤を囲んでいる。碁盤は「世界」を象徴し、三神がこの世界を、さてどうしたものかと思案中か。碁盤の手前には香炉があり、その周りには、八仙と呼ばれる男7人、女1人、計8人で構成されるしあわせの神々のグループ。中国で最も人気のある仙人たちで、一人ひとりにめ度たい意味があるのではなく、8人揃ってにぎやかに騒ぐことで「祝宴盛り上げ隊」的な性格を帯びている。日本の七福神は、八仙が元になったとも言われている。碁盤の左方に立つのは、崑崙山(不老不死の神仙境)に住む女神・西王母。画面左上には鶴(右下には亀、香炉の前には鹿(禄と同音のことから「財産」を意味する)がいて、しあわせをもたらす吉祥のモチーフが散りばめられている。正月や結婚式など、おめでたい席に飾られ、人々の気持ちをいっそう盛り上げたことだろう。

長寿を願う

中国では、漢の時代に厚葬の習慣があり、先祖のために立派なお墓がつくられた。孝行の気持ちを表現する方法として、また教養を積んだ人々の証しとして、画像磚と呼ばれるさまざまな題材の文様を付けた煉瓦がつくられ、半地下の大きな空間を持つお墓の壁を飾った。

この磚には、「千秋万歳・五鼎食・子授益昌・長寿未央」とあり、長寿、繁栄を願った吉祥の文字と幾何学模様が配されている。



押型千秋万歳數磚
中国 漢 33×33×4cm



富士山図タイル
日本 1950年代 15×15×0.7cm



タイル絵(富士山の風景)
日本 1950年代 30×45×0.7cm

いよつ、日本一

優美にして雄大、昔も今も変わらず愛される日本のシンボル。初夢に見たい「一富士二鷹三茄子」。神の棲む聖なる山として信仰の対象でもある。

「富士山図」は一点物のタイル絵。もともと赤地の部分は金彩だったようで、めてたさを表現している。今はすり減って地肌の赤い釉薬が見えている。

「富士山の風景」は、6枚組の陶板。小金井橋から富士山を望む春、桜の頃のおだやかな風景が描かれている。



多彩野宴図組絵タイル
イラン 18世紀 73×110×1.5cm

宴は 楽し

コーランには、来世の話として、若い女性が男性に酌をさして酒を楽しむという場面がある。現世では果たせない飲酒が来世では許される、幸福感に満ちた来世を示している。

この組絵タイルは、そんな場面を表わしたものだ。人物が描かれているので、当然、宗教施設ではなく、人々の日常の暮らしの中で飾られた。神の教えをより身近に感じようとしたのかもしれない。

金彩鳳凰文星形タイル
イラン 13～14世紀
23×23×1.8cm



鳳凰は、 はばたく

古代中国の神話に登場する霊鳥・鳳凰が浮き彫りになった画像。鳳凰は麒麟、亀、龍とともに瑞獣として尊ばれた。この鳳凰が、東西交易がさかんになるなかでイスラーム圏に伝わり、イスラームタイルの文様として取り入れられた。タイルには、人もの、文化が行き来した東西交流の証しが残されている。

多彩風景文転写タイル
イギリスの風景
スコットランドの
インバーギャリー城
15×15×1cm



多彩草花文転写タイル
イギリスの植物 ヒルガオ 15×15×1cm

心はずんで 今年は何 どころへ

19世紀末のイギリスでは、新しい文化の創生とともに、たとえば、家庭園芸や旅行ブームを反映して、写実的な植物図や有名観光地のイラストがタイルに描かれた。人々は、今年はスコットランドの大聖堂を見に行こうとか、今年はこんな花を新しく買って庭に植えようなど、家のリビングやバブなどで、わくわくする気持ちでタイルを見て語りあった。そんな光景は今も同じ。さあ今年はどこに行きますか？



林和靖図組絵タイル
日本(不二見焼タイル)
戦後
60×30×0.6cm

本来、中国では梅と言えば白梅なのだが、タイルでは紅梅。日本の新年を祝うために中国の文人画のなかに彩りを添えたのだろう。

湖の岸辺を杖を抱えて歩く老人は、宋代の詩人、林逋(りんぼ)の名を林和靖。俗界と縁を切り、梅と鶴を愛して風雅な生活を貫いた文人界のスーパースター。中国では「四愛」と言い、君主に愛される4種の花を文人と結びつけた。「菊を愛した陶淵明」「蓮を愛した周茂叔」「梅を愛した林和靖」「蘭を愛した黃庭堅」。季節感を高雅な文人趣味で彩るもので、雪の残る早春に咲く梅と林和靖の組み合わせは、品格ある新春の喜びを表現していると言える。



鳳凰画像磚
中国 漢 34×34×4cm

風雅を 愛でる

いかにも中国風な景色が描かれた、レリーフと金彩が施された8枚組のタイル絵。名古屋にあったタイルメーカーの商品で戦後につくられた。